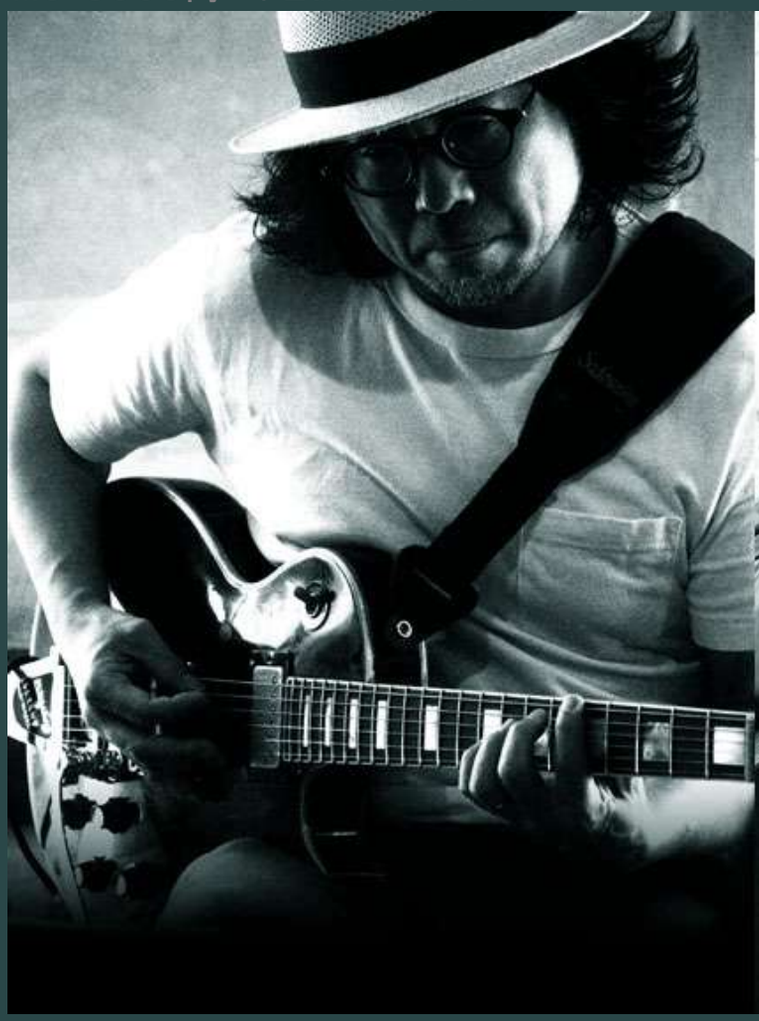
市野元彦 guitar
藤本一馬 guitar

※通常の半分以下、15 名限定にて入場制限を行っています。
※マスクの着用を必ずお願いいたします。
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2020 10月24日（土）

開場　19:30　night live
開演　20:00
（2ステージ入替なし　途中入場可）（1drink=600円～）
MC=3000円　＋2drinks order

CAFE BEULMANS
世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2 F
03-3484-0047
mail : info.cafebeulmans@gmail.com
メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



市野元彦

1968 年神戸市生まれ。同志社大学在学中より関西圏で活動を始める。1999 年 Berklee College of Music 卒業。Mick Goodrick(g), Bret Willmott(g) などに師事。2001 年に帰国後、首都圏にて活動を開始する。2007 年 2 月に AmmoniteMusique よりリーダー作『Sketches』、2008 年 11 月には Boundee Jazz Library より『Time Flows (like water)』を発表。現在は藤原大輔 (ts,electronics) 佐藤浩一 (keys,synth,p) 千葉広樹 (b,electronics) との "rabbitoo"、外山明 (ds) 津上研太 (as) 落合康介 (b) との "Time Flows Quartet"、元山ツトム (pedal steelg) 笠井トオル (b) 山本達久 (ds) とのユニットなどの自己のプロジェクトを中心に活動。またレギュラーグループとしては橋爪亮督 GROUP、渋谷毅 DUO、小山彰太 " 幽玄郷 "、津上研太 " 元太平洋 "、織原良次 "miD"、佐藤浩一 "Melancholy of a Journey" などに参加している。2014 年 2 月、SONG X JAZZ より rabbitoo の 1st album『national anthem of unknown country』が発売。2014 年 6 月には同アルバムのフランス盤 (naïve) がヨーロッパ市場に向けてリリースされ、フランスのテレビ局 "MEZZO TV" の Top Mezzo of September 2014 に選出される。2016 年 4 月、2nd album『the torch』が発売。

藤本一馬

ギタリスト、コンポーザー。1998 年ヴォーカルのナガシマトモコとのデュオ、orange pekoe を結成。2002 年 1st 作 «Organic Plastic Music» で幅広い支持を獲得。その後も国内はもとよりアジア各国や北米でも活動を展開。2011 年ソロ名義での 1st アルバム «SUN DANCE» をリリースし、雄大な自然からの着想、自己の内面を投影した叙情的なオリジナル楽曲もとに、アコースティックな響きと空間的余韻を内包したインストゥメンタル音楽を展開。ジャズやクラッシク音楽だけでなくワールドミュージックリスナーなど幅広い支持を得る。その後もカルロス・アギーレ (pf) やアンドレ・メマーリ (pf)、シルビア・イリオンド (vo) 等をフィーチャーしたソロ名義作 «Dialogues»、«My Native Land»、«FLOW»、また伊藤志宏 (pf) とのデュオ作 »Wavenir» を発表。2019 年、予てから活動を展開していた林正樹 (pf)、西嶋徹 (cb) との FLOW トリオに福盛進也 (dr) が参加し、藤本一馬カルテットを始動。フォークロリックな感性と室内楽の持つ静謐さ湛えたコンテンポラリー・ジャズへ昇華。その他、これまで国内および海外まで多数のアーティストと共演。旋律的でリリカルなアプローチ、ときに野生的なダイナミズムまで、その音楽性は高い評価を獲得している。